

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[DNS の設定](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、ホストのドメイン ネーム システム (DNS) を設定する方法について説明します。

前提条件

要件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- Solaris 2.6、2.7、2.8 および 2.9

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな (デフォルト) 設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

DNS の設定

このセクションはホストの DNS を設定するためにプロシージャを記述します。始める前に、次のファイルが Sun ホストの /etc ディレクトリにあることを確認して下さい:

- resolv.conf
- nsswitch.conf

次に示す手順に従ってください。

1. /etc/resolv.conf ファイルのコンテンツが次と対等であることを確認して下さい:DNS サーバが ping コマンドのことに使用によってホストから到達可能であることを確認して下さい。 ping コマンドに関する詳細についてはオンラインドキュメントを参照して下さい。ドメイン名が正しいことを確認して下さい。復元力の場合、複数の DNSサーバは用いることができます。 resolv.conf ファイルで指定される最初の DNSサーバはデフォルト DNS です。
2. /etc/nsswitch.conf ファイルのコンテンツが次と対等であることを確認して下さい:ホストを修正して下さい: ファイル dns 行。この表の各行はどのルックアップ方式が最初に使用されるか規定します。 ホスト 名前解決に関しては、ファイルは /etc/hosts を示し、 dns は DNS を示します。 順序は、この例で、重要ファイル名前解決を試みるのに最初に使用されています。それが失敗した場合、第 2 方式か。 dns か。使用されます。 /etc/resolv.conf ファイルはどんな DNSサーバがその名前解決 要求のために参照する必要があるか認知するために読み込まれます。
3. DNS 設定が正しく機能していることを確認する nslookup コマンドを使用して下さい。 nslookup コマンドに関する詳細についてはオンラインドキュメントを参照して下さい。ネットワークのホストの IP アドレスが正しいアドレスに解決されるようにする nslookup コマンドを使用して下さい。 DNS 管理者に不整合をすぐに報告して下さい。

[関連情報](#)

- [ネットワーク管理サポート ページ](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)